

## 『ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会（仮称）』を設立します

高度経済成長期に整備された橋梁やトンネル等のインフラの老朽化が進み、更新時期を迎える中、維持修繕に必要な点検・診断技術等を有する土木技術者が不足しており、その育成が喫緊の課題となっています。

このため、技術者育成の取組みとして、産学官連携による『ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会（仮称）』を設立するため、下記のとおり設立総会を開催します。

### 【設立総会の開催について】

- 開催日時 平成29年7月11日（火） 14時00分～15時00分
- 場所 福島県建設センター 2階会議室（福島市五月町4-25）
- 参画団体 日本大学工学部、福島工業高等専門学校、ふくしまインフラ長寿命化研究会、（一社）福島県建設産業団体連合会、（一社）福島県建設業協会、（一社）福島県測量設計業協会、福島県法面保護協会、（一社）福島県地質調査業協会、（公社）日本技術士会東北本部福島県支部、福島県土木施工管理技士会、（一財）ふくしま市町村支援機構、国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所、福島県土木部
- 議事（案）
  - 協議会設立趣意書（案）について
  - 協議会組織体制（案）について
  - 協議会規約（案）について
  - 役員を選任について
- 取材について
  - 受付については13時30分から行います。なお、駐車場は福島県建設センター及び県庁外来駐車場を使用してください。
  - 設立総会は全て公開で実施しますが、取材の際には担当者の指示に従ってください。

### 【問い合わせ先】

土木部土木企画課

担当者：主幹 玉川 善徳

電話 024-521-7890（内線 3529）FAX 024-521-7950

## <背景>

高度経済成長期に整備された橋梁やトンネル等の社会インフラの老朽化が進み、社会インフラ更新時期の本格的到来に備えた対応が、全国的な課題となっている。

### 産・学・官それぞれの思い

#### 【産業界】

専門分野だけではなく、横断的な知識や技術が必要となる。

#### 【学識】

限られた予算や人材の有効活用を産学官が一体となり検討する必要がある。

#### 【官公庁】

維持修繕は限られた予算の中で、効率的及び効果的に進めなくてはならない。

## <県内での課題>

「県民の安全・安心を第一」に、「地域のインフラは、地域自らが守る」という認識は産学官共通であり、今後、安定的に適切な維持修繕（メンテナンス）を実施する必要があるが、維持修繕に必要な点検・診断技術等を有する土木技術者が不足しており、その人材の確保・育成が急務となる。

技術者不足という喫緊の課題を解消するために、『ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会（仮称）』を設立し産学官それぞれのノウハウを活かした技術者の育成に取り組む。

## 協議会設立総会までの経過概要

産・学・官それぞれにおいて現状把握・課題整理

H29.1.12 県建設業審議会による「今後の県内建設業のあり方」の答申

・インフラメンテナンス技術者の育成・確保に関する産学官連携強化を明記

H29.1.12 学から県へ産学官連携によるメンテナンスに係る技術者育成の要請

・県土木部として、産学官連携による枠組みづくりに積極的に取り組むと回答

H29.2.23 第1回 産学官連携による技術者育成に関する意見交換会

・技術者育成のための共通スキームの構築について合意

H29.3.27 第2回 産学官連携による技術者育成に関する意見交換会

・産学官連携による協議会の設立について合意

H29.3.27 ふくしま建設業振興プランの策定

・産学官連携によるインフラメンテナンス技術者育成を明記

H29.5.17 協議会設立準備会

・技術者育成の方針及び協議会の体制について合意

H29.7.11 『ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会（仮称）』 設立総会